

私を変えたアルバイト

皆さん、こんにちは私は世宗大学、2年生のパク・ゴンヒョクと申します。どうぞよろしくお願いします。

これから私を変えたアルバイトについて発表したいと思います。皆さんは今までアルバイトの経験がありますでしょうか。私は大学に入ってから今までずっとアルバイトをしています。私がアルバイトを始めるようになったきっかけはいろんな理由がありますが、生活費や自立心を高めるために始めました。私が経験したアルバイトはロッテリア、家庭教師、工場など、合わせて八つです。

その中で、今まで一番印象に残ったのは日本語を教える家庭教師です。なぜかという、とても大変だったからです。どうして大変だったか、写真を見てください。それは教え子がいたずらっ子のいところだったからです。（写真を見せながら）韓国の中学校では日本語や中国語を習うことになっているので、日本語に興味を持たせるために教えることになりました。日本語を教える間、いくつかの難関を迎えました。

日本語を教える最初の難関は何よりも、どうしたらひらがなを簡単に暗記させられるのかということでした。私はいとこに授業のたび、飽きれるほど、ひらがなを書かせました。

二つ目の難関は動詞や形容詞の変化を教えることでした。これは外国人が日本語を習う時、日本語が難しいと思う理由の一つだと思います。いところが書いた練習の写真をこらんください。（写真を見せながら）間違っているところがとても多いですね。

三つめは日本語に興味を持たせるようにすることです。これが教師にとって一番、重要な役目だと思います。興味を持ち続き、あきらめないようにすること。いところが日本語に興味を失いそうなとき、日本のアニメ「ナルト」と見せると熱心に勉強をしました。

日本語を教えるアルバイトしながらふと、日本語の先生になったらどうだろうかと思いつき、世宗大学で教職課程を進むことになりました。これから自分になりたいものになるために頑張ります。ご清聴ありがとうございます。